

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成25年4月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15  
一般社団法人 日本病院会 通信教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>  
受 付 時 間 9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)  
発 行 日 毎月1日  
定 価 1部 150円 1カ年1,600円(送料共)  
郵便振替 00190-5-396045  
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## 統計の素養

中村 洋一

茨城県立医療大学 保健医療学部 教授  
東京会場 専門課程(医療統計学) 講師

新しい年度が始まって、通教生の皆さんも新たなスタートを切ったことと思います。

2005年の日本学術会議統計学研究連絡委員会の報告書では『高度情報化社会の深化とともに、私たちの身の回りにはテレビや新聞・雑誌・インターネット等を通して多様・多量の情報があふれ、国民ひとり一人が、その中から真に必要な情報を取り出し、正しい判断・価値選択を行うことが極めて重要な時代となった。企業や官庁においても、グローバル化の時代を迎え、社会・経済・自然現象等のあらゆる分野にまたがる多様なデータをスピーディに収集・分析・解釈・判断・企画できる能力をもつ人材が求められている。また、改めて指摘するまでもなく、実験、調査、観察研究で得られるデータから正しく推論を行う力は、すべての学問分野の基礎でもある。』と述べています。

いわゆる「ゆとり教育」でほぼ姿を消した統計教育が、2008年に告示された新学習指導要領により、小学校では2011年、中学校では2012年から全面实施されています。また、高等学校でも2013年から段階的に適用されます。統計に関しては、理科や社会でも幅広く学びますが、小学校2年生の算数では度数に関する簡単な表やグラフを学び、中学3年生の数学では母集団と標本を学びます。また、高等学校では必修科目の「数学I」において、分散、標準偏差、四分位数、箱ひげ図や、散布図、相関係数などを学び、さらに選択科目の「数学B」では確率分布や統計的な推測も学びます。したがって、3年後の2016年に高等学校を卒業する者はこれらの統計の素養を持って社会に出ます。また、大学に入学してくる学生に対して、統計関連学会では統計教育の2016年問題としてとらえています。

2011年7月から始まった日本病院会の「医療統計学勉強会」も3年目を迎えます。この勉強会では、スクーリングでの時間不足を補っています。2012年10月からは、それまでの「代表値・分散・標準偏差の理解コース」、「散布図の作成コース」、「推定・検定の実践コース」の3コースだったものを、「推定・検定の実践コース」については「推測統計の理解と推定の実践コース」と「検定の実践コース」の2つに分けて、全4コース、各々3時間、計12時間に改定されました。これは、通常の大学における90分(2時間とみなす)の授業の7.5回(15時間)に当たり、1単位(予習・復習を含めて45時間)の授業に相当すると考えてよいと思います。

ゴールは推定・検定までを理解することですが、まずは高等学校で必修となる「数学I」の記述統計をマスターすることを新年度の目標にはいかがでしょうか。

